週報 Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

青森県感染症発生情報
（2026 年第 44 週）

発行 青森県感染症情報センター（2026 年 11 月 6 日）
（青森県衛生研究所　微生物第一部）
TEL 017-736-5411、 FAX 017-736-5419
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/eisei/infection-survey.html

Ⅰ　第 44 週の発生動向（2026/10/26～2026/11/1）

1．**インフルエンザ**について、**上北保健所管内**の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。また、**東津軽＋青森市保健所管内**の定点当たり報告数が再び**注意報レベル**となり、**三戸＋八戸市保健所管内**及び**西北保健所管内**で**注意報**が継続しています。日頃から手洗いや咳エチケット等の基本的な感染対策をお願いします。また、ワクチン接種についてもご検討ください。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

＜感染症の窓＞

今週のテーマは「侵襲性肺炎球菌感染症」です。

最終ページに掲載しています。

Ⅱ　第 44 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

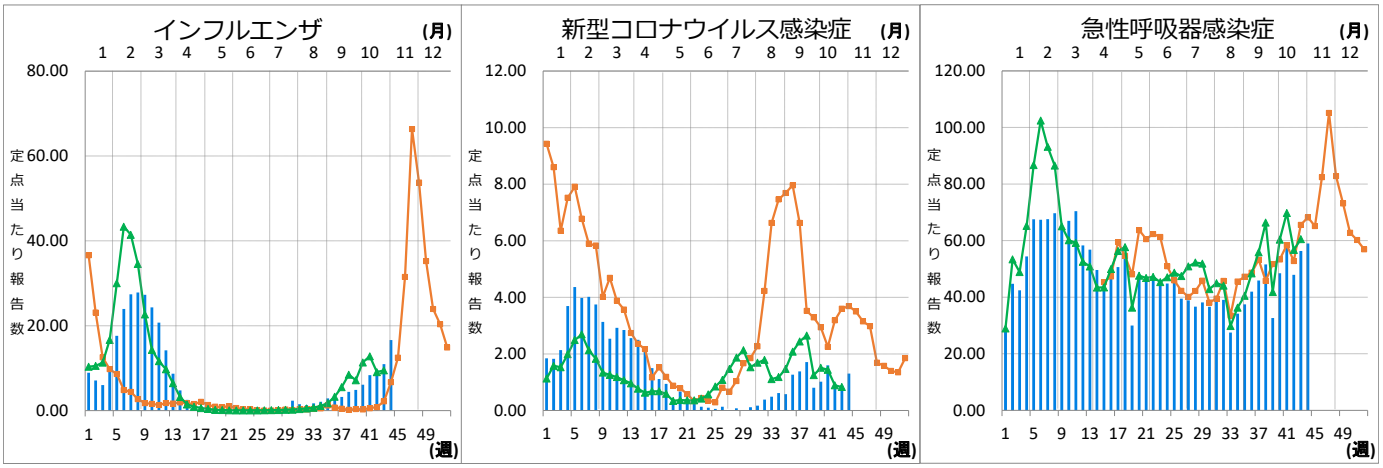
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青（東津軽＋青森市保健所）		中南（中南保健所）		三八（三戸＋八戸市保健所）		西北（西北保健所）		上北（上北保健所）		下北（下北保健所）		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	141	12.82	77	7.70	216	21.60	92	15.33	290	32.22	49	8.17	865	16.63	296
	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症	16	1.45	16	1.60	10	1.00	1	0.17	10	1.11	15	2.50	68	1.31	22
	急性呼吸器感染症	775	70.45	405	40.50	510	51.00	288	48.00	675	75.00	415	69.17	3068	59.00	138
小児科	ＲＳウイルス感染症			3	0.50	2	0.29	1	0.20					6	0.18	2
	咽頭結膜熱	1	0.17	1	0.17	1	0.14	2	0.40					5	0.15	1
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	3	0.50	6	1.00	3	0.43	2	0.40	7	1.17	2	0.50	23	0.68	-3
	感染性胃腸炎	8	1.33	14	2.33	14	2.00	1	0.20					37	1.09	2
	水痘	2	0.33	2	0.33					2	0.33	3	0.75	9	0.26	0
	手足口病									1	0.17			1	0.03	0
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	1	0.17	3	0.50	3	0.43							7	0.21	3
	ヘルパンギーナ	4	0.67			3	0.43			2	0.33			9	0.26	1
	流行性耳下腺炎					1	0.14							1	0.03	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	1.00											1	0.10	1
基幹	感染性胃腸炎（ﾛﾀｳｲﾙｽ）															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎											2	2.00	2	0.33	-2
	無菌性髄膜炎															0

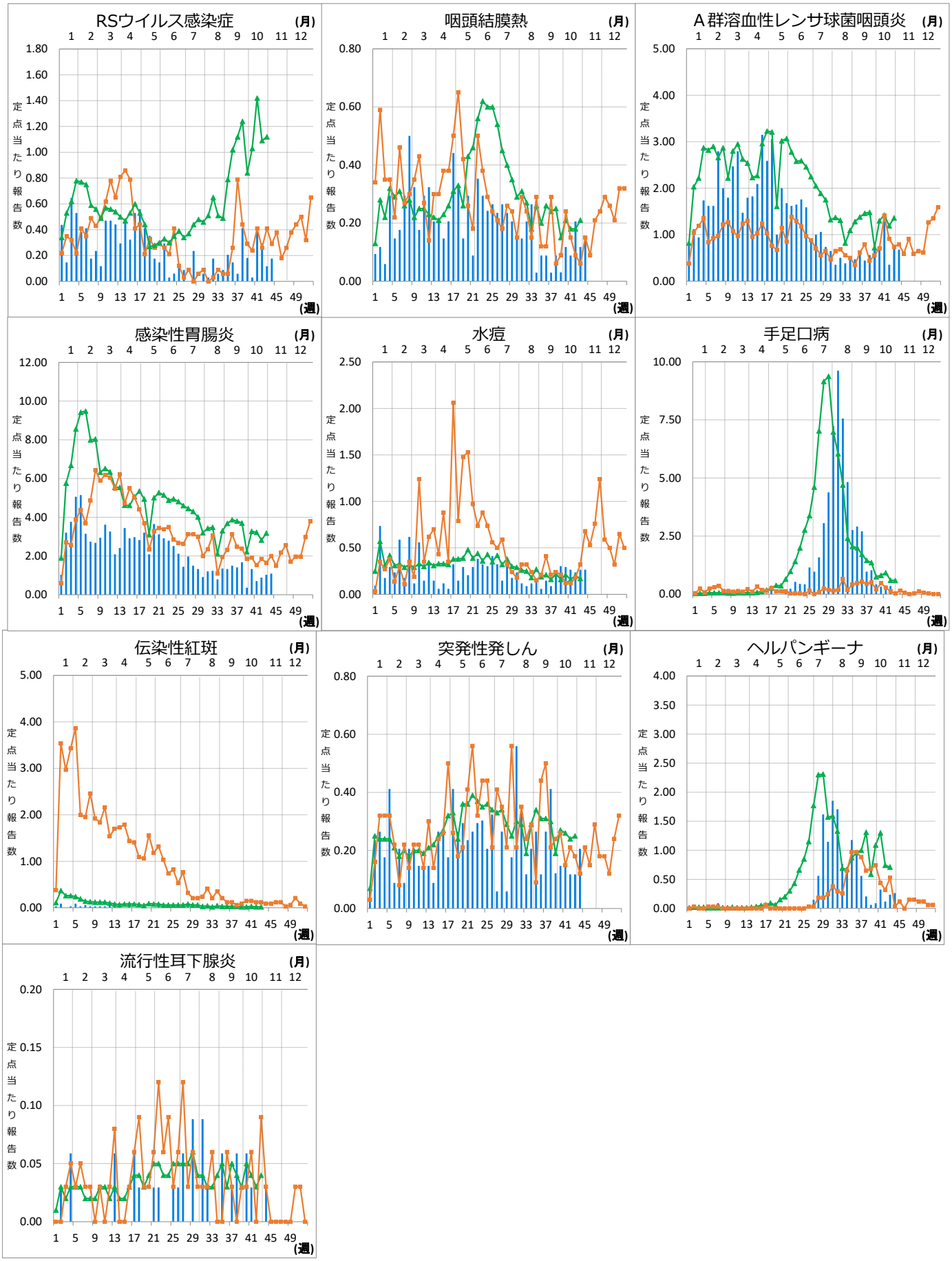
Ⅲ　定点把握対象疾患週別推移（急性呼吸器感染症定点）（2026 年第 44 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



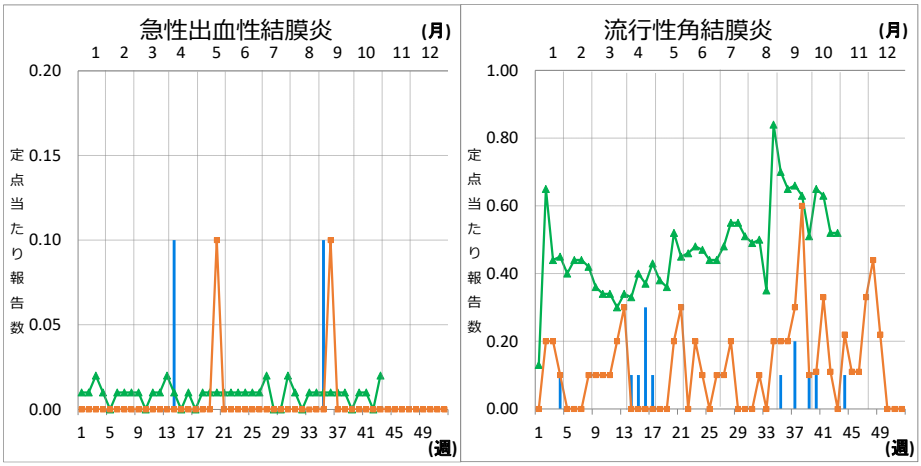
Ⅳ　定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2026 年第 44 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



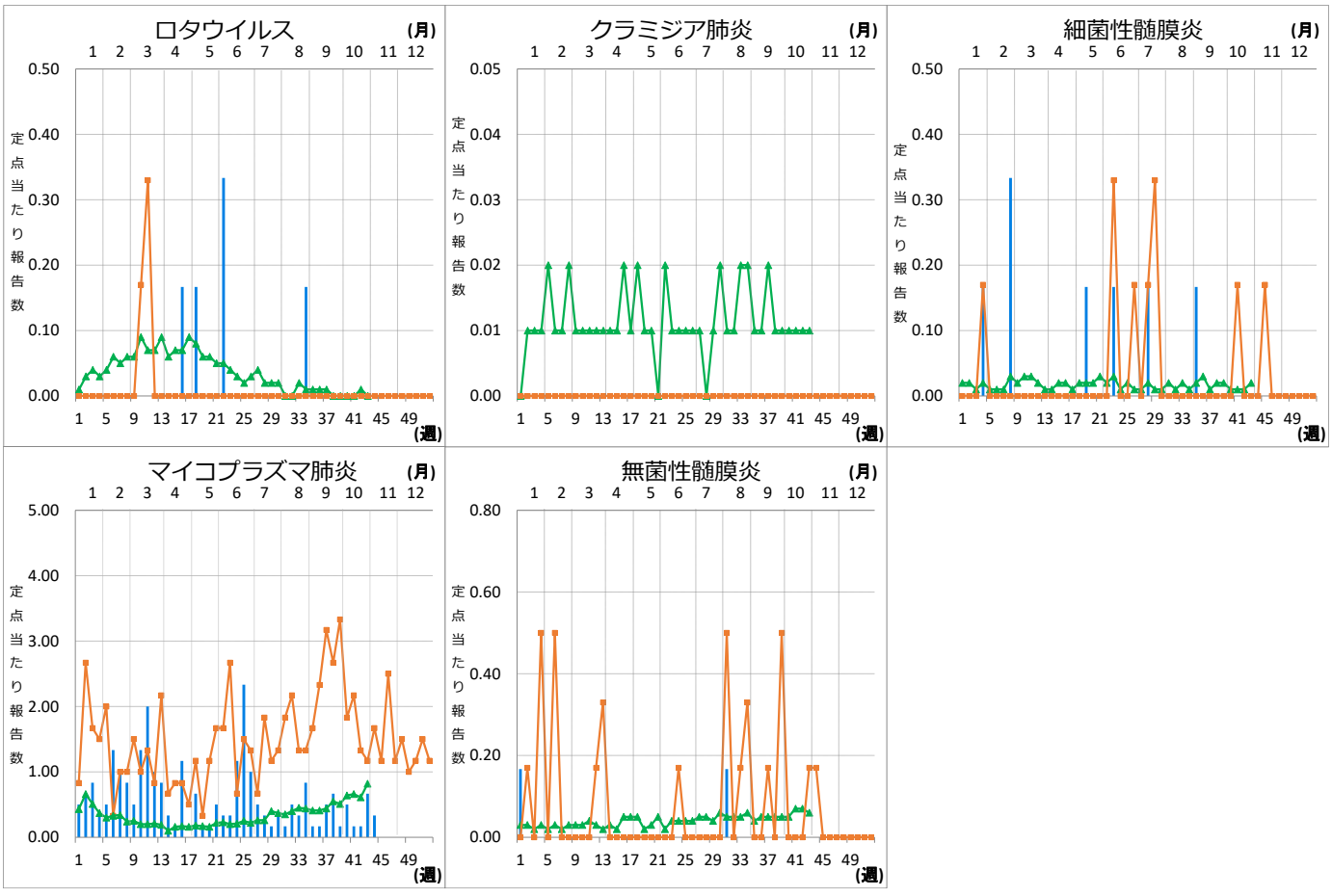
V　定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2026 年第 44 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



VI　定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2026 年第 44 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞——は 2026 年青森県、■——■は 2025 年青森県、▲——▲は 2026 年全国



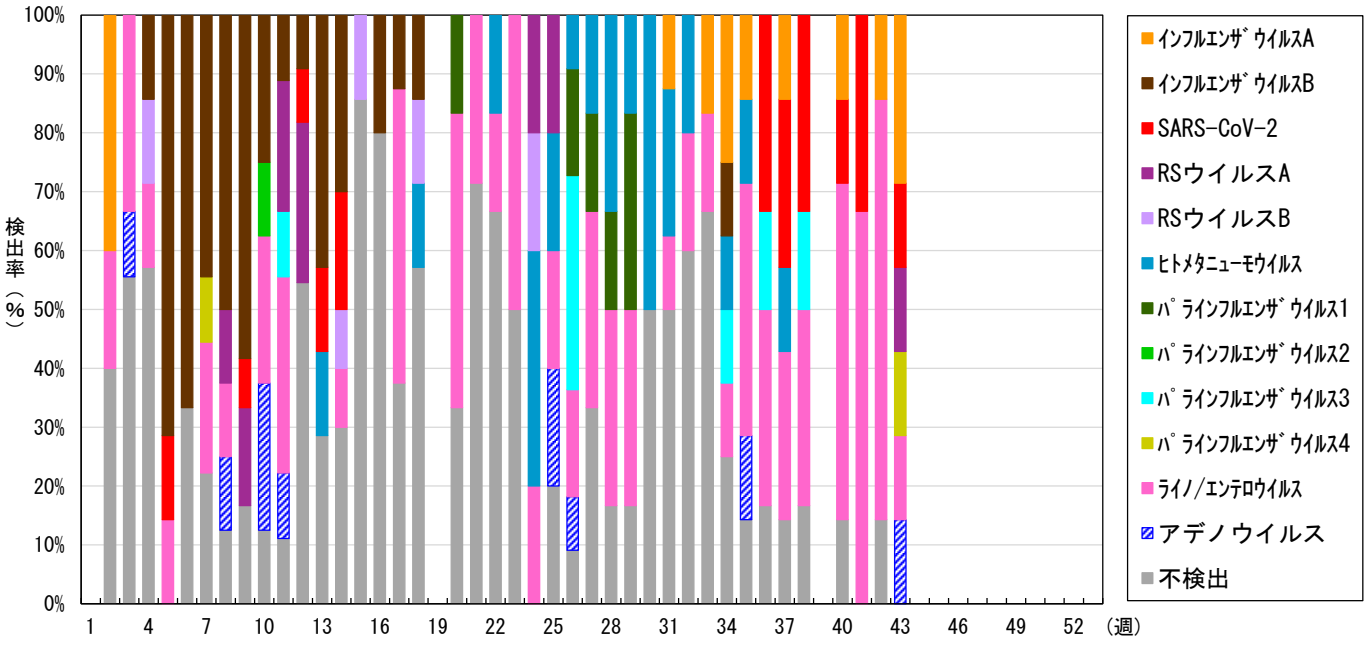
Ⅶ　急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

（１） 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分（2026 年第 37 週～44 週）

急性呼吸器感染症	2026年							
	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週
提出検体数	5	6	0	6	5	6	7	5
インフルエンザウイルスA	1	0	0	1	0	1	2	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	2	2	0	1	2	0	1	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	1	
RSウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	1	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	0	0	0	0	0	1	
ライノ/エンテロウイルス	2	2	0	4	4	5	1	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	1	
不検出	1	1	0	1	0	1	0	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	5

※第37週に採取された検体のうち、SARS-CoV-2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体、インフルエンザウイルスA及びヒトメタニューモウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第40週に採取された検体のうち、SARS-CoV-2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第41週に採取された検体のうち、SARS-CoV-2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。
※第42週に採取された検体のうち、インフルエンザウイルスA及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが１検体ありました。

（２） 検出された病原体の週別推移（2026 年第 1 週～43 週）



Ⅷ　全数把握対象疾患発生状況（第 44 週）

・結核（二類感染症）：中南 1 人、上北 1 人　（2026 年計：　88 人）
・ウイルス性肝炎（五類感染症）：八戸市 1 人　（2026 年計：　1 人）
・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（五類感染症）：青森市 1 人　（2026 年計：　8 人）
・水痘（入院例）（五類感染症）：青森市 1 人　（2026 年計：　8 人）
・百日咳（五類感染症）：中南 2 人　（2026 年計：　32 人）

Ⅸ　保健所管内別全数把握対象疾患発生状況　（2026 年第 41 週～2026 年第 44 週）

週	東青 （東津軽保健所+ 青森市保健所）	中南 （中南保健所）	三八 （三戸保健所+ 八戸市保健所）	西北 （西北保健所）	上北 （上北保健所）	下北 （下北保健所）
41		レジオネラ症1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人 百日咳1人	結核1人 腸管出血性大腸菌感染症1人 レジオネラ症1人			
42	梅毒1人		侵襲性肺炎球菌感染症3人	結核1人		結核1人
43	結核1人 梅毒1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	結核1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人			
44	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 水痘（入院例）1人	結核1人 百日咳2人	ウイルス性肝炎1人		結核1人	

第 43 週に八戸市保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症の届出が 1 件ありましたので追記しました。

X　全数把握対象疾患発生状況（全国−青森県）（注：発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国　（2026 年第 1 週～第 43 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	12420	1	59	3713	33	16	525	350	19	151

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱
累積報告数	5	4	6	2	161	1	4	69	132	579

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ブルセラ症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
累積報告数	7	1	41	4	1	2314	29	414	177	824

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	26	463	8	145	1047	779	42	459	48	2143

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	多剤耐性緑膿菌感染症	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	686	1	208	9405	138	99	62	4825	4	581

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	10

青森県　（2026 年第 1 週～第 44 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	88	2	43	3	3	12	2	1	8	4

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	百日咳
累積報告数	13	2	9	1	21	8	21	1	1	32

XI　病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅻ　社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成１８年２月２２日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2026 年第 44 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第44週	報告なし		

2026 年報告件数及び発症者数

施設種別＼月（週）		1月 1-5週	2月 6-9週	3月 10-13週	4月 14-17週	5月 18-22週	6月 23-26週	7月 27-31週	8月 32-35週	9月 36-39週	10月 40週	10月 41週	10月 42週	10月 43週	10月 44週	11月 45-48週	12月 49-52週	計（施設別）
介護･老人福祉関係施設	件数	2	2	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0			15
	発症者数	37	44	69	23	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0			215
児童･婦人関係施設等	件数	4	0	1	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0			13
	発症者数	92	0	30	73	63	10	0	0	0	0	0	0	0	0			268
障がい関係施設	件数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			2
	発症者数	20	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			38
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
計（月別）	件数	7	2	8	5	7	1	0	0	0	0							30
	発症者数	149	44	117	96	105	10	0	0	0	0							521

感染症の窓

侵襲性肺炎球菌感染症

肺炎球菌は、鼻咽頭に常在している細菌で、保菌していても必ず発症するわけではありませんが、何らかのきっかけで増殖し下気道や血流に侵入することで、肺炎や中耳炎、副鼻腔炎などの肺炎球菌感染症の原因となることが知られています。

この肺炎球菌感染症のうち、髄液や血液などの本来無菌的である部位から肺炎球菌が検出され、髄膜炎や菌血症を伴う脳炎などの症状を示したものを、侵襲性肺炎球菌感染症といいます。国内でも、乳幼児と 65 歳以上の高齢者を中心に報告されています。

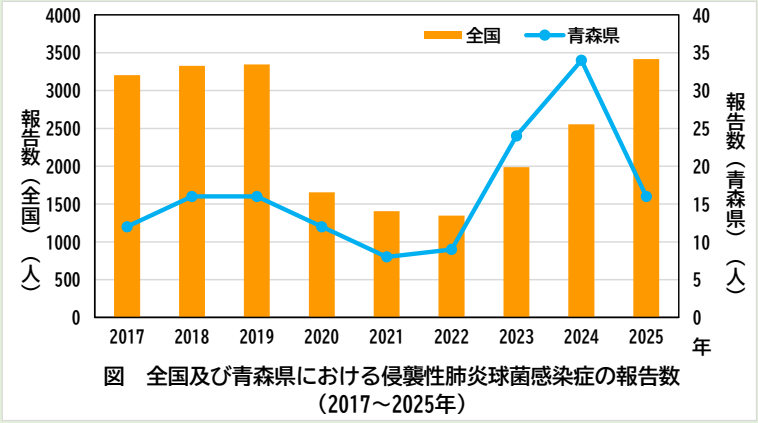


図　全国及び青森県における侵襲性肺炎球菌感染症の報告数
（2017～2025年）

2017 年以降の全国及び青森県における報告数の推移は図のとおりです。新型コロナウイルス感染症が流行していた 2020～2022 年には報告数が減少していましたが、2023 年以降に増加し、2025 年には全国の患者報告数が過去最多となっています。

主な感染経路は飛沫感染ですので、予防には、他の感染症対策と同様に、手洗い、咳エチケット、人混みを避けることが有効です。また、肺炎球菌ワクチンについては、５歳未満の小児や 65 歳の方、60～64 歳で一定の基礎疾患がある方は定期接種の対象となりますので、お住まいの市町村に確認のうえ、ワクチン接種の検討をお願いします。

〇詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞侵襲性肺炎球菌感染症（国立健康危機管理研究機構 HP）